



イタリア GESSI 社製 **ヴェーラ**
湯水混合水栓

- ショートタイプ(ポップアップ機能付属) **GS-38601.031**
- ショートタイプ(ポップアップ機能付属) **GS-38602.031**
- ショートタイプ(ポップアップ機能なし) **GS-38605.031**
- トールタイプ(ポップアップ機能付属) **GS-38603.031**
- トールタイプ(ポップアップ機能なし) **GS-38609.031**
- トールタイプ(ポップアップ機能なし) **GS-38610.031**

施工説明書

本施工要領書、及び取扱説明書の指示に従った場合のみ製品保証の対象となり、この製品に定められた性能とその安全性を保証するものとします。

1 安全上の注意

1. 記号の説明

- 以下に示した注意事項は状況によって重大な結果（傷害・物損等）に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 取り付け工事は、水道法、その他の地方自治体の法令、および地方自治体の条例、規則など各種法規に従って行ってください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認し、取扱説明書にそって使用方法、お手入れの仕方をお客さまに説明してください。

- 

「してはいけません」
一般的な禁止記号です
- 

「注意してください！」
必ず読んで、記載事項を守ってください
- 

「分解してはいけません」
- 

「指示通りにしてください！」
一般的な行動指示記号です

2. 注意事項

-  **修理技術者以外の人は、水栓本体内部を分解しないでください。**
故障や水漏れの原因となります。
-  **製品に強い力や衝撃を与えないでください。**
故障や水漏れの原因となります。
-  **湯水を逆に配管しないでください。**
水を出そうとしたのに湯が出て、やけどをすることがあります。
-  **同梱の部品以外は使用しないでください。**
故障や水漏れの原因となります。
-  **寒冷地では使用しないでください。**
凍結による故障や水漏れは保証の対象外です。
-  **温泉水は使用しないでください。**
温泉成分により器具が腐食する等の恐れがあります。
-  **給湯の温度設定は80℃以下をおすすめします。**
不意の出湯によるやけど防止になります。
-  **各接続部は確実に接続してください。**
確実に接続されていないと、水漏れの原因となります。

2 本製品の仕様と使用条件

給湯設定温度	80℃以下
使用可能水質	飲用可能な水道水
使用環境温度	0～40℃ 但し、内部の水を凍結させないでください。
給水、給湯接続	G 1/2
圧力条件	0.05MPa（流動圧）～0.75MPa（静水圧） 給水圧力≧給湯圧力
取り付け条件	水栓取り付け穴：Ø35 カウンター厚：6～40mm

給水・給湯圧力

最低必要水压	0.05MPa（流動圧）
最高水压	0.75MPa（静水圧）

*給水圧力と給湯圧力の差を小さくしてください。温度設定が容易になります

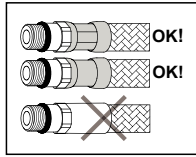
*給湯圧力は水栓直前における流動圧です

その他の条件

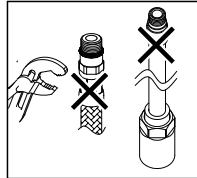
*給水・給湯圧力が0.75MPaを超える場合は市販の減圧弁などを使用し、0.2～0.3MPa程度に減圧してください。

3 施工上の注意

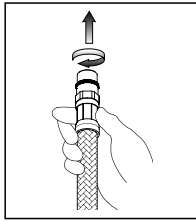
器具を取りつける前に必ず給水管内のごみ、溶接時の破片や麻糸またはその他の異物が管内に残らないよう完全に取り除き給水管をよく洗い流してください。給水管の不完全な洗浄や一般の給水網を通して混合水栓の中に異物が混入するとワッシャーまたはワッシャーリングの破損の原因となることがあります。



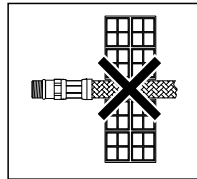
施工前に給水・給湯ホース両側のソケットに完全な刻みがあるかを確認してください。



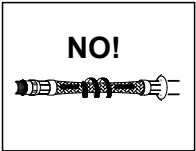
給水・給湯接続部は工具を使って締めつけないでください。



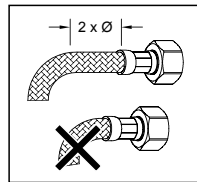
O形リングシール付コネクターは手でまわしながら圧着するまで締めてください。



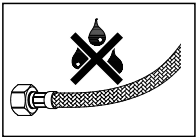
ホースを壁の中に埋め込まないでください。



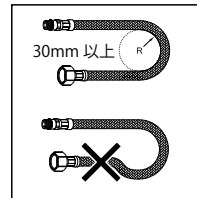
ホースをねじ曲がった状態あるいは引っ張った状態で設置しないでください。



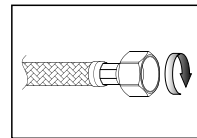
ホースを曲げる前に、ホース差し込み口からパイプの外径の約2倍の長さ以上の直線部分を維持してください。



特に強い刺激のない物質であっても長時間の接触は、給水・給湯ホースの損傷や破裂をまねく恐れがあります。



ホースを曲げる際は、最小曲げ半径30mm以上を守ってください。

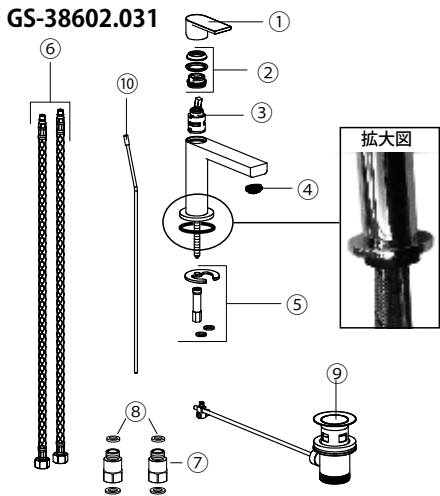


ナット付コネクターは手でしっかり締めつけてから、適合するレンチで180°回して締めつけてください。

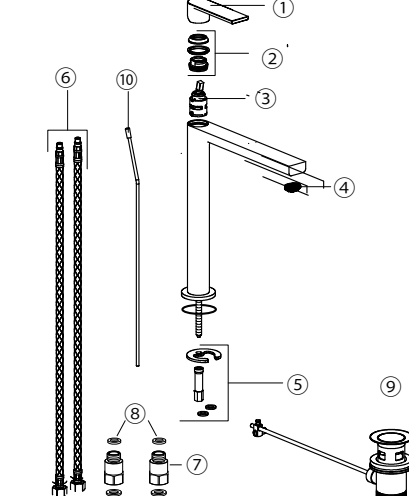
4 完成図

5 梱包内容

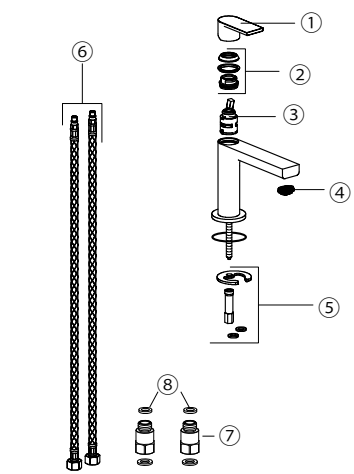
GS-38601.031
GS-38602.031



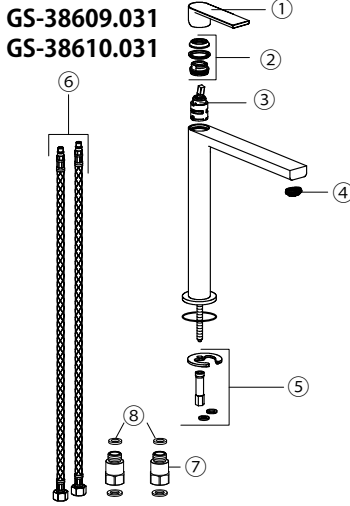
GS-38603.031



GS-38605.031



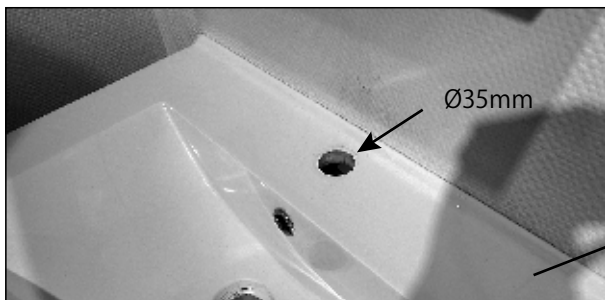
GS-38609.031
GS-38610.031



- | | |
|--------------|------------|
| ①ハンドル | ⑥フレキシブルホース |
| ②カートリッジ固定リング | ⑦逆止弁 |
| ③カートリッジ | ⑧シートパッキン |
| ④エアレーター | ⑨排水栓 |
| ⑤取り付け金具 | ⑩ポップアップロッド |

6 本体取り付けの前に

1. 取り付け穴について



水栓取付穴とカウンターの厚みが適合していることを確認してください。

カウンターの厚み
6 ~ 40mm

2. 給水・給湯管内の清掃について

止水栓を取り付け後、商品を取り付ける前に

必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流します。

注意

給水・給湯管内の清掃を行わない場合、給水・給湯管内のごみ、砂などがフィルターに詰まり、以下の事象が発生します。

- ①吐水量が少ない
- ②温度調整がうまくできない

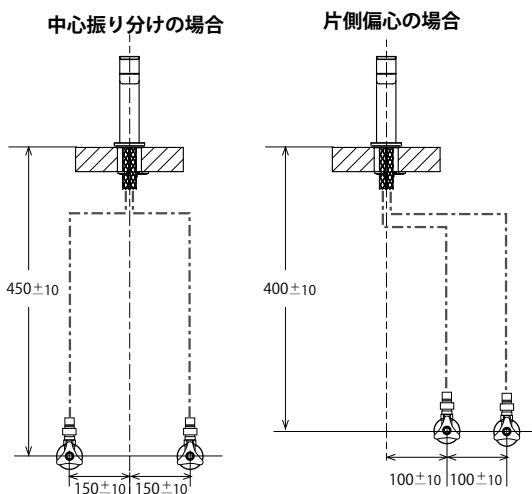
給水・給湯管内の清掃は必ず行ってください。

市販のフレキホースなどとバケツを準備し、止水栓に市販のフレキホースなどを接続して、ゆっくりと止水栓を開け、給水・給湯管内のごみ、砂などを洗い流してください。

7 施工手順

1. 配管

給水・給湯の止水栓の位置は、右図に従ってください。



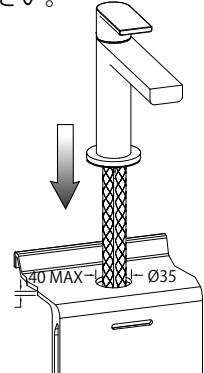
2. 本体の取り付け

- ①青のフレキシブルホースを本体の右側に、赤のフレキシブルホースを左側に手締めでしっかりねじ込みます。
- ②台座金具にゴムベースを押し込んだ後、本体に取り付けます。取付の際、落下等で洗面台に傷をつけないようご注意ください。

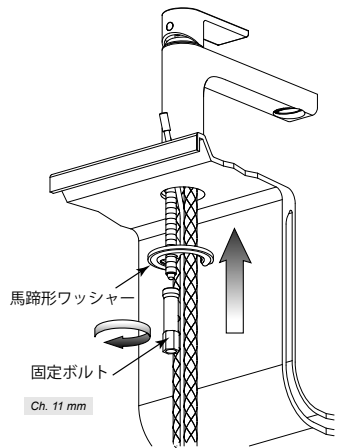


背面のポップアップロッドにキャップをねじ込んでください。

- ③ホースを取り付け穴に差し込みます。



- ④水栓の向きを正しい位置にして、下から馬蹄形ワッシャーをあて、固定ボルトで水栓全体がぐらつかないようにしっかり締めます。

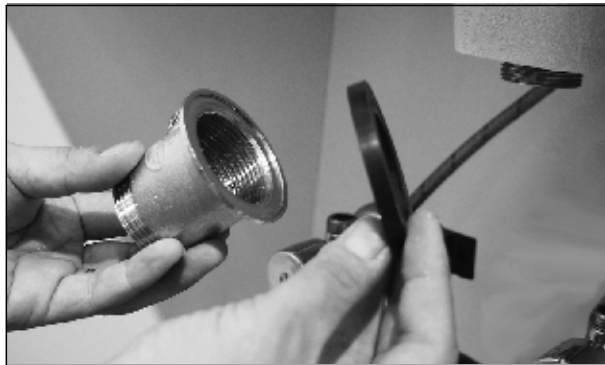


3. 排水栓の取り付け

GS-38601.031、GS-38603.031の場合



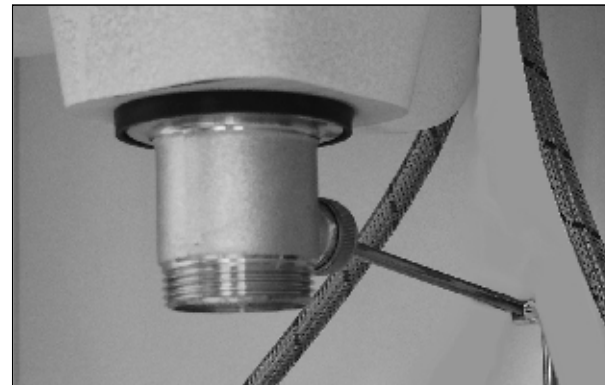
- ①金具に白いパッキンを入れ、排水口の上から差し込みます。



- ②受け金具に黒いパッキンをかぶせます。

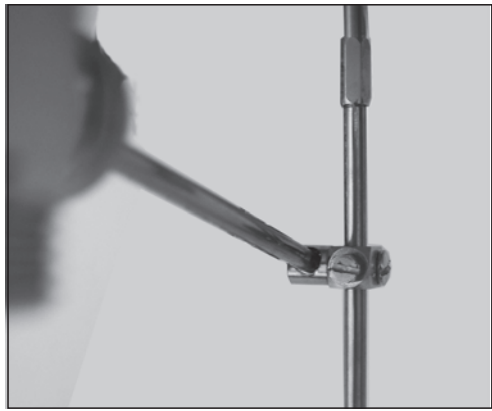


- ③受け金具は手でしっかり締め付けてください。

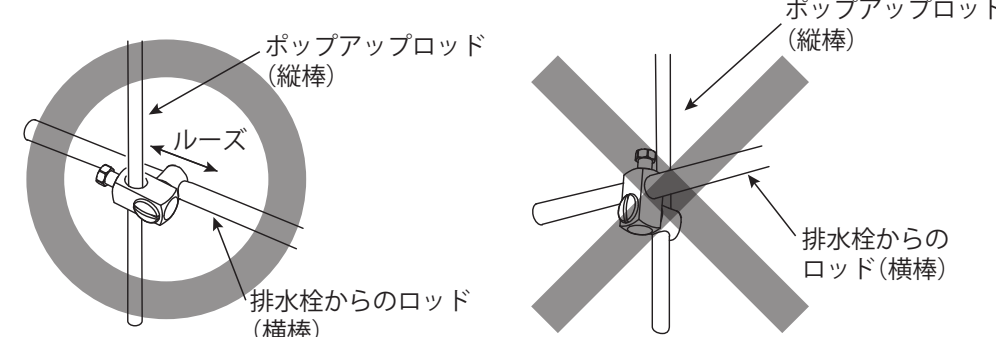


- ④ロッドが本体の方を向くように、受け金具の向きを調整してください。

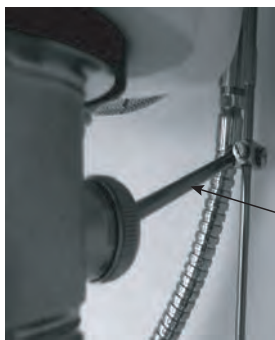
4. ポップアップロッドの接続（GS-38601.031、GS-38603.031 の場合）



① 本体からのポップアップロッドと排水栓からの太いロッドをユニバーサルジョイントで接続します。
ユニバーサルジョイントの接続は、下図左のように、排水栓からの太いロッドを太い穴に、ポップアップロッドを細い穴に差し込み、排水栓を閉めた状態でネジを締め、固定してください。
作業が終わったら、動作を確認してください。



(1) ポップアップロッド（縦棒）を引き上げた状態



(2) 排水栓からロッド（横棒）を上げた状態

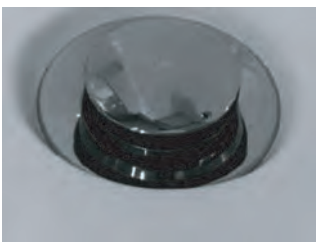
※この時排水栓は閉じています



排水栓

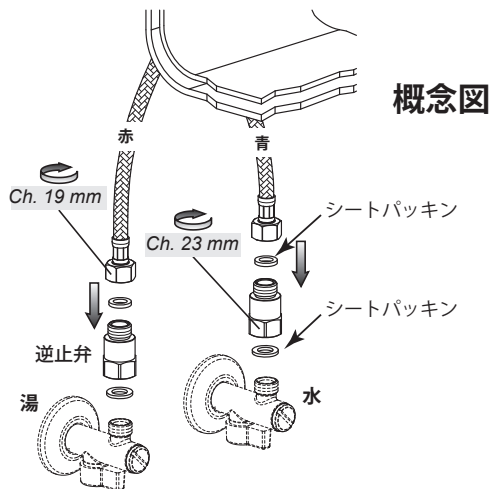
ポップアップロッド（縦棒）を下げ排水栓のふたが上がり溜めた水が排水されるよう高さ調整してください。

このスクリーネジで高さ調整をします。

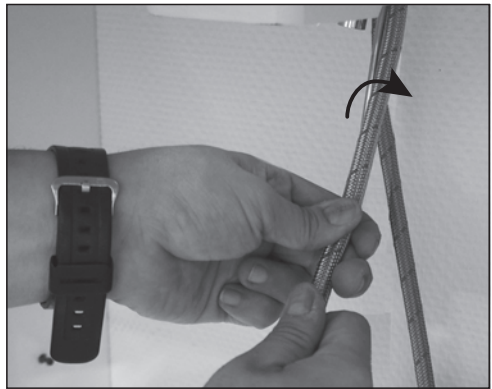


(1)と(2)の状態でユニバーサルジョイントを固定する。
※ポップアップロッド（縦棒）は真っ直ぐ降りている状態で固定してください。

5. 給湯・給水管の接続



※必ず手順を守ってください。

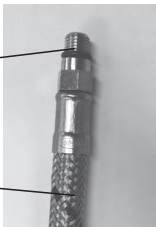


① フレキシブルホースを矢印方向に回して、手締めで固定します。

⚠ 工具を使って強く締めないでください。Oリングが切れて水漏れの原因となります。

Oリング

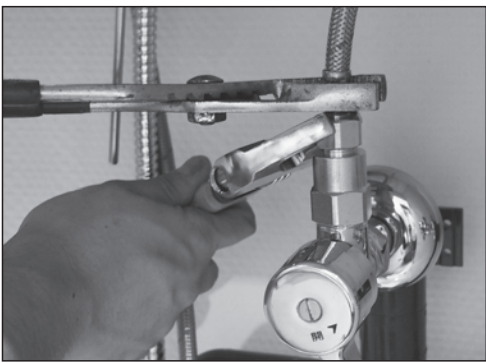
フレキシブルホース



② フレキシブルホースと逆止弁の間にシートパッキンを入れます。



③ その状態で袋ナットを手でしっかり締めます。

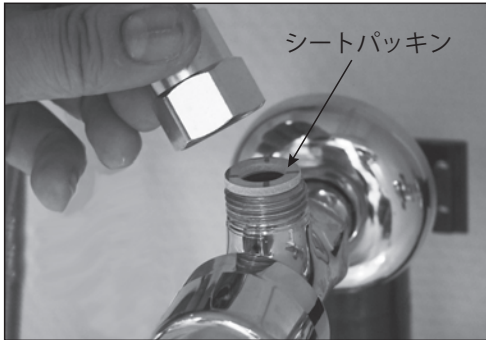


④ フレキシブルホースが動かないようにレンチ等で押さえながら G3/8 の袋ナットをスパナ等で増し締めします。締め付けトルクは目安として 5〜7N・m です。

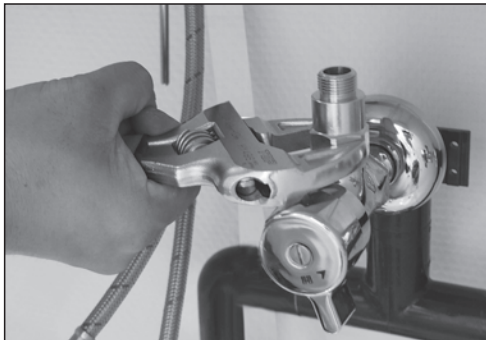
⚠ 一度締めたシートパッキンをもう一度使うことはできません。新しいものと交換してください。

⚠ フレキシブルホースが緩んでいないか確認してください。

6. 逆止弁の取り付け



① 止水栓と逆止弁の間にシートパッキンを入れ、逆止弁を手でしっかり締めます。



② スパナでしっかり締めます。
(接続口径 G1/2) 締め付けトルクの目安は 10〜15N・m です。

⚠ 過度に強く締め付けるとパッキンが破損します。

⚠ 一度締めたシートパッキンをもう一度使うことは出来ません。

7 引き渡し前の確認

工事が終了したら、配水管を接続し、エアレーターを清掃し、湯・水の止水栓を開け、各部に水漏れがないか、動作は正常かを確認してください。
そして、下記の事項を点検した後、お客さまに引き渡ししてください。

現象	点検内容	処置
流量が少ない	圧力は十分か？	❷ 使用条件参照
	止水栓は十分開いているか？	流量の調節
	エアレーターにゴミ詰まりはないか？	エアレーターの掃除
	配管途中に大きな抵抗はないか？	配管の系統を確認する
水が止まらない	ゴミかみはないか？	ハンドルと止水栓の開閉でフラッシングをする
	ゆるみはないか？	締め直しをする
希望の温度が得られない	圧力は十分か？	❷ 使用条件参照
	流量調節はよいか？	止水栓で流量の調節
	エアレーターにゴミ詰まりはないか？	エアレーターの掃除
水栓本体がガタつく	ゆるみはないか？	❸-2 本体の取り付け参照
ハンドルがガタつく	ゆるみはないか？	※ 固定ビスを締め直す

※レバーハンドルの裏側のキャップの中に固定ビス (φ2.5 六角) があります。